

11/2
木

【全体会】① 基調報告

13:30～

「日本の再生可能エネルギー政策の最新動向」高村ゆかりさん 名古屋大学教授
「エネルギー自立を目指す会津地域での取り組み」佐藤彌右衛門さん 会津電力㈱代表取締役
「再エネ活用による土湯温泉のまちづくり」加藤勝一さん ㈱元気アップつちゆ代表取締役

② 全国調査報告：豊田陽介さん 気候ネットワーク

③ ポスターセッション団体紹介（20 団体）

④ ポスターセッション交流

参加者間の交流、情報交換の場としてポスターセッション会場を設け、自由な交流を行います。

18:30～ ⑤ 懇親会

11/3
金

【分科会1】「地域新電力のつくり方」

9:30～12:00

400社を超えた小売電気事業者。しかし再生可能エネルギーや地産地消の電力供給を実現しているのはわずか。そのカギの1つになるのが需給調整。1歩リードする新電力の皆さんにお話をお聞きます。

パネリスト

磯部達さん みやまスマートエネルギー 高橋雅樹さん みらい電力 大石英司さん みんな電力
鶴籠博紀さん 米子ローカルエナジー 相良元章さん ふくしま新電力

コーディネーター

竹村英明 市民電力連絡会理事長 / グリーンピープルズパワー代表取締役

【分科会2】「里山資源を活かす小規模木質発電・熱利用の推進」

9:30～12:00

小規模木質発電・熱利用の重要性と動向、現在の国内の代表的な小規模木質ガス化発電の取り組み事例に基づいて、全国各地に里山資源を活かす小規模木質発電・熱利用による地域の自立的発展のための課題等について議論します。

パネリスト

鈴木崇之さん やまがたグリーンパワー株式会社 高橋正樹さん 気仙沼地域エネルギー株式会社
尾地裕一さん 新宮エネルギー株式会社

コーディネーター

和田 武 自然エネルギー市民の会

【分科会3】「農村における再生可能エネルギーの可能性」

13:00～15:30

再生可能エネルギーの資源は地方に分散し、多くが農村に存在している。農村、農家がエネルギー生産に取り組むことで、これまでの食糧生産に加え、新しい農業の形が生まれている。農村での再エネの実践を紹介し、全国への普及について議論します。

パネリスト

遠山忠宏さん 株式会社開成 近藤恵さん 飯館電力株式会社 根本敬さん 福島県農民連

コーディネーター

佐々木健洋 福島県農民連

【分科会4】「広がる生協による再生可能エネルギー普及の取り組み」

13:00～15:30

近年、全国の生協では温暖化防止対策の一環として、再生可能エネルギー普及の取り組みが多様に展開されています。特に、電力自由化以降は、より積極的に電力販売事業に立ち上がる生協もあります。組合員の期待を担った、全国の生協の現状や、方向性について経験交流し、情報をフィードバックします。

パネリスト

板谷伸彦さん 日本生活協同組合連合会 藤山聖彦さん 大阪いずみ市民生協 福西啓次さん ならコープ
武田智津枝さん NPO 法人ブルーアース(おおさかパルコープ)

コーディネーター

藤永 のぶよ おおさか市民ネットワーク代表

11/4
土

【エクスカッション】

8:30～12:00

コース A：土湯温泉の地熱発電所見学

コース B：飯館村をめぐり再エネと除染の現状を見学

視察参加費：3000 円

※どちらも開催最低人数が 20 名となります。※集合・解散は福島駅西口バス乗場になります。

